

特集

さまざまな買い物の

カタチ

北広島には、近くに食料品店がなく、車で自由に移動ができない高齢者などにとっては買い物に不便な地域もあります。快適に暮らすため、生活に欠かせない買い物について考えてみませんか。

問合せ 商工業振興課
(☎372-3311・内線4612)

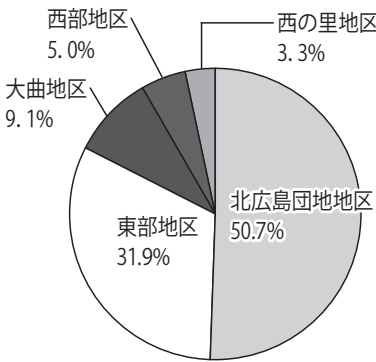
買い物環境はさらに厳しく

市内に商店や大規模小売店は12軒コンビニエンスストアは25軒、合計37軒の食料品店があります。人口減少が進む中で、店舗の増加を期待することは難しくなっています。一方で、車で自由に買い物ができない高齢者の増加が考えられることから、買い物環境の維持確保が必要不可欠となります。

将来を見据えたサービスや支援が重要

市では、買い物に不便を感じている方の実態やニーズを把握するため、昨年10月にアンケート調査を実施しました。対象は、食料品店から半径500m圏外の地域（市街化調整区域を除く）に居住する65歳以上の高

◆買物に不便していると思われる65歳以上の高齢者5,716人の内訳



齢者5,716人(平成30年7月現在)のうち、無作為に抽出した2,000人。アンケートの結果、買い物に不便を感じていると答えた方は29.1%と、それほど多くありませんでした。しかし、移動手段として自動車と回答した方が多く、運転ができなくなった場合などを心配する声がありました。将来を見据えたサービスや支援を検討することが重要だと考えています。

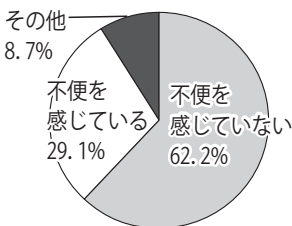
移動販売「おまかせ便カケル」で買い物をする様子。高齢者に限らず、幅広い世代の方に利用されています。

買い物不便者支援の三本柱

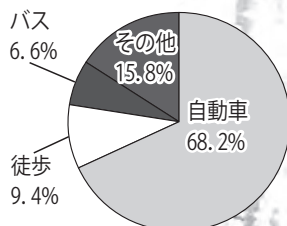
希望するサービスや支援には、移動販売や臨時出店といった近所で買物ができる場の提供、店舗宅配サービス、バスやタクシーの運賃割引などが多く挙げられました。これらを整理し「近所で買い物できる場」「買い物サービスの活用」「利用しやすい移動手段」を買い物不便者支援の3本柱に設定。事業者や自治会・町内会、関係機関と協力しながら、支援の検討・実施をしていきます。

アンケート結果の一部

◆市内の買い物環境について



◆買い物時の移動手段



*詳しいアンケート結果は、市ホームページ「くらしの情報→生活・交通→消費生活」をご覧ください。



買い物不便利者支援① 近所で買い物できる場

移動販売「おまかせ便カケル」



「おまかせ便カケル」運行ルート

- ❖ 緑陽町・山手町・里見町
= 毎週火・金曜
- ❖ 里見町・泉町
= 毎週水・土曜
- ❖ 高台町
= 毎週木曜

停車中は音楽を鳴らして知らせします



*詳しくは、市ホームページ「くらしの情報→生活・交通→消費生活」をご覧ください。

買い物不便利者支援モデル事業として、3月19日から運行を開始した、生活協同組合コープさっぽろの移動販売「おまかせ便カケル」。食料品や日用品など約1,000品目を積載しており、実際に手に取って選ぶことができます。利用者数は徐々に増加し、5月現在で1日平均52人が利用しています。

運行ルートは高齢化率が最も高い北広島団地地区。今後も継続した取り組みになるよう、事業者と共に工夫や見直しを重ねていきます。

..... 利用者の「声」を聞きました

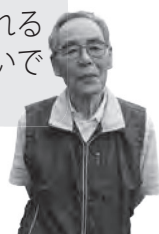
カケル到着の音楽が鳴ると「買い物に行こう!」と子どもが喜んで誘ってくれます

高台町
田嶋薫さん



遠くまで歩くのが大変なので、家の近くに来てくれるのはありがたいですね

高台町
橋野勝成さん



買い物不便利者支援② 買い物サービスの利活用 サービスなどの周知

市内の食料品店の場所や公共交通機関での行き方、店舗で購入した商品を自宅に宅配する店舗宅配サービスなどの情報を掲載した冊子を作成します。また、買い物サービスの利用手順を紹介する講習会を10月以降に予定しています。

店舗宅配サービスなどを行っている市内の店舗はいくつかありますが、あまり知られていないのが現状です。これらの便利な取り組みを知ってもらい、市内店舗の利用拡大やサービスの継続を目指します。



買い物不便利者支援③ 利用しやすい移動手段 移動手段の検討

アンケートから、買い物時の移動手段の約7割は自動車だと分かりました。高齢化により自動車運転免許返納者の増加などが想定されることから、今後バスなどの公共交通の利用は拡大することが考えられます。

公共交通は買い物だけではなく、通勤や通学、通院など、さまざまな場面で利用されます。利便性が高く持続可能な公共交通網になるよう、地域公共交通網形成計画と連携し検討します。

Interview このまちで暮らし続けるために

消費者協会会員
芝田慶子さん



近所に食料品店があるから、という理由で家を購入しました。しかし、その店舗がなくなつたため「おまかせ便カケル」や、電話で注文し自宅に届けてもらう注文宅配サービスなどを利用することが多いです。店舗で買い物をする時は、市内の店舗を利用することが買い物環境の維持につながると思います。

近所には、店舗宅配サービスを利用することで手軽に買い物を済ませている方もいます。しかし、高齢でバスの乗り降りも大変だという方もいるので、それぞれに合った買い物の方法を選択できると良いと思います。

買い物環境を維持するためには、市民や関係団体などが理解を深め、みんな協力し合うことが重要だと思います。誰もが住み慣れた地域で快適に生活できるよう、考えていきたいですね。